

第5回 箕面市障害者就労検討会議

令和7年10月29日(水)

午前10時～ 箕面市役所 本館2階特別会議室

△ 箕面市

1 事務局報告

- ・優先調達について
- ・質疑応答

2 ご講話「共同受注窓口 現状と課題」…別紙1

一般社団法人エル・チャレンジ福祉事業振興機構 ご担当者さま

- ・質疑応答・意見交換

3 報告書骨子について…別紙2

- ・報告書骨子の説明
- ・意見交換

4 次回について

本資料には個人、法人に関する情報および十分に検討がなされていない事業案が含まれるため、P.1及び講話資料(別紙1)、報告書骨子(別紙2)は公開を控えております。

(配布資料)

前回会議議事録／スライド印刷資料／講話資料(別紙1)／報告書骨子(別紙2)

優先調達にかかる事業所へのヒアリング

- ①目的 事業所の受注にかかる現状把握と課題確認
 ②対象 複数の課室から継続的に受注がある7事業所

事業所	優先調達による市からの主な受注内容 (直接契約)	シェア役務1 市ごみ袋の製袋 (あかつき福祉会経由)	シェア役務2 ○図書修理 ◇ごみ回収 (箕面市障害者事業団経由)
A	【物品】事務用品・書籍、その他物品など 【役務】点訳	●	
B	【物品】事務用品・書籍、小物雑貨など 【役務】印刷、市指定ごみ袋配布		
C	【物品】食料品、小物雑貨など 【役務】施設清掃、印刷、市指定ごみ袋配布	●	○ ◇
D	【物品】事務用品、小物雑貨など 【役務】印刷		
E	【物品】小物雑貨 【役務】市指定ごみ袋配布	●	
F	【物品】食料品 【役務】なし	●	◇
G	【物品】食料品 【役務】なし		

③聞き取り内容（複数あった意見）

a. 現状

- ・役務については、事業所の本来事業に影響のない範囲でできること、もしくは本来事業を活かせることを受注している。
- ・事務用品など物品の受注では、障害者が関わるのは配達や仕分けなど。受注調整や見積作成などの事務は支援者作業。
- ・市ごみ袋の製袋や室内でできる軽作業は、障害者に継続的な作業があって、工夫をすれば作業できる障害者も多く、気候に左右されない。支援体制も組みやすく続けやすい。
- ・競艇事業のノベルティの受注は、事業所の得意分野を活かせてよい。受注量や時期を障害者事業団が調整してくれて受注できている。

b. 課題・受注にあたり期待すること

●物品

- ・見積り期日や納期が短い発注、仕様が固まっていない発注は受注しにくい。電話での調整が必須で、調整にかかる支援者の負担が大きい。

●役務

- ・事前によく調整をしないと受注が難しい。
- ・作業日時の厳守を求められる案件、初期投資が必要な案件、作業場所まで送迎が必要な案件などは受注しにくい。
- ・事業所外での作業は、行ける利用者と事業所に残る利用者に分かれ、支援者も分かれるので支援が手薄になりやすく、受注しにくい。
- ・状態が安定しなかったり、慣れるまで時間を要する障害者の特性に合わせて、日程に余裕があり、人や時間を融通しやすい形で受注できるとよい。
- ・例えば既存のシェア事業のように量、時期、体制、作業内容などを受注できる形に調整できると検討しやすい。

●その他

- ・事業所は、優先調達に限らず、販路拡大のために外を回る時間がなかなかない。仕事の紹介や販促会などの機会づくりを、市などにしてもらえるとありがたい。

発注元と事業所の間で、発注内容を調整・分割する機関があると、事業所は受注しやすくなる様子。

共同受注窓口の役割が必要？

- ・報告書骨子の説明（別紙2）
- ・意見交換

次回: 令和8年1月頃

内容: 統括／報告書(案)の確認

